

## OnAir 2500 ユーザーレポート

株式会社熊本放送 様

OnAir 2500 - 12



### 第一編集室をOnAir 2500で更新



株式会社熊本放送  
ラジオ局 ラジオ編成制作部  
西 哲司

#### はじめに

RKKラジオ第1編集室は、RKKラジオの7つのスタジオの中で、主にCMなどのコメント録り、及び編集をする為に設計された、比較的コンパクトなスタジオです。しかしANNブースは2人まではゆっくり収録が出来る程度のサイズを備えています。現社屋建設時に作った前スタジオが15年を経過し、今回の更新となりました。

#### 諸条件

考慮したポイントは、以下の通りです。

- ①入力素材の多様さに対応できる(CD、オーディオファイル、SSRだけではなく、ターンテーブルや、テレコ、カセット、MDなどの古い素材も取り込めるような入力数が必要)
- ②音卓のサイズのコンパクトさ
- ③音卓自体の静音性
- ④音質の良さ
- ⑤使い勝手の良さ

今回の更新に当たり、3つのメーカーと同じSTUDERのOnAir 3000を比較検討しました。

OnAir 3000を考慮に入れたのは、RKKラジオの第1・第3・第4スタジオにOnAir 3000が導入されており、スタッフ皆が使い慣れているという事が大きかったからです。しかし、価格の面から言うとOnAir 3000では少し贅沢な仕様となってしまう為、OnAir 2500も検討対象に含めました。ただ、今までOnAir 3000に慣れたスタッフが、OnAir 2500になって使いにくいという事では困ると思い、デモンストレーションをしていただきました。いざ触ってみるとOnAir 3000とほぼ同様の使い勝手で、全く躊躇なく触ることが出来たので安心。しかも編集室にちょうど良いフェーダー数を選ぶことが出来、入力数も必要十分な数を確保出来ている事から、OnAir 2500の線が急浮上してきた感じです。

音質や安定性の面でも、STUDERは他のスタジオでの実績があり、安心して選択することが出来ました。他のメーカーの音卓との比較においても、入力の数・EQ・DYNAMICS系の充実度、使い勝手の良さからこの卓が有力候補になりました。さらに、このスタジオはサブ側からワンマンでのDJ収録に対応しているため、サブにMICを設置しなければならないため、機器の静音性も大事な要素になるのですが、この卓に関しては全く問題なく、ワンマンでの収録が出来る事も大きなポイントでした。上記に加え、

フェーダーの感触やストローク、フェーダー幅、コンパクトさをTotalに比較検討した結果、OnAir 2500に決定しました。

#### 導入後

導入して半年近くが経過しましたが、使い勝手が良く、常に誰かが使用しているという位、人気のスタジオになっています。使い方も、皆がすぐに慣れるので、導入担当者としても説明の手間が少なく済み、大変助かっています。また、この卓は本体のみで全てが完結しているので、スタジオのスペースを取らない事から、同じスタジオが広く使えて、居住性の面からも貢献してくれています。コンパクトなスタジオに於いて、全てにちょうど良い。快適なスタジオが出来上がったと感じています。

